

## 映画の小箱

オフィスで見つけた穴は誰も15分間だけ、俳優マルコヴィッチになれる穴だった。世界が絶賛する天才クリエーター、スパイク・ジョーンズの第1回監督作品。

金丸弘美=文  
text by Hiromi Kanamaru

『マルコヴィッチの穴』

# 現代版『不思議の国のアリス』 ともいうべきコミック・ファンタジー

シニールで、奇妙で、おかしくて、哀しく、笑えて、衝撃的、それで、哲学的。なんでもこんな作品が生まれたのかと思うほどの、奇抜な物語。なにがなんだかわからないが、この不思議なマルコヴィッチ・ワールドに確実に引き込まれるに違いない。まるで、これは現代の都会に現れた『不思議の国のアリス』だ。

クレイグ（ジョン・キューザック）は人形使い。ペットショップに勤める妻ロッチ（キヤメロン・ディアス）と暮らしている。だがクレイグは妻より人形を愛しているようだ。クレイグは仕事がなく、新聞広告を見た、ファイル整理の社員を募集しているレスタージャの面接を受けに行く。レスタージャはビルの上階の二分の一階にあった。エレベーターに乗ると、同乗の女性が七階と八階の間をめぐりかけてボタンを押し、ドアに鉄棒を入れてこじ開けると、そこにオフィスが出現した。オフィスに入ると天上も低く、すでに面接に来たらしい人たちが、体をかがめて並んでいる。この会社、創業者の妻が、身長がとても低く、ドアも机も高く不便だからと嘆いたことで、愛する妻のために、オフィスを、彼女の身長に合わせたということになっている。会社のレスタージャ（オースン・ビーン）に言わせると「天上が低いぶん給料も半分なんじやよ」ということになる。

クレイグは面接を受け、就職することにした。そして面接で一緒だったマキシン（キャスリーン・キーナー）に、一目ぼれする。クレイグは、ある日、ファイルを取り出しているときに、誤って棚と壁の隙間に落ちてしまう。棚をずらすと、そこには、小さな扉があった。開けると長いトンネルがある。おそろおそろ入るとすい込まれ、あつという間に他人になっていた。そしてクレイグは、

十五分後にとこから吐き出され、道路ぞいの草むらに落ちてくる。なんと十五分の間、俳優マルコヴィッチになっていたのだ。

この素晴らしい体験をクレイグはマキシンに伝えた。マキシンもマルコヴィッチ体験をして、官能に打ち震える。そしてこれをビジネスにすることを思いつくのだ。「あなたも他人になれます。十五分、二百ドル」。こうして終業後のサイドビジネスが始まった。

クレイグはマキシンを盛んに口説くのだが、まったくはなも引つ掛けてくれない。そんなある日、マキシンはクレイグの妻ロッチと一緒に会ってほしいと提案する。しぶしぶ承諾したクレイグだったが、いざマキシンとロッチを会わせてみると、二人は引かれ合うこととなり、クレイグはものすごい嫉妬にかられることになる。

ロッチはマキシンに「抱き合いたい」と切望するのだが、マキシンは「あなたがマルコヴィッチに入ったときに、私がマルコヴィッチに会って抱かれたい」という、提案をする。



# FACIAL

タマキ  
スペシャルソープ  
¥8,000

一度使ったら手放せない手作りの石けんです

## 肌が輝く 極上の洗顔

クロレハ配合の為 洗えば洗うほど若々しいお肌へ 肌本来の力を引き出します



玉樹

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-11 帝国ホテルインペリアルタワー5F  
TEL 03-3501-8899 FAX 03-3501-8887



それは実現するのだが、マキシンをあきらめきれないクレイグは、ロッテを家に閉じ込め、マキシンがマルコヴィッチに会う頃を見計らい、マルコヴィッチの穴に入り込み、マルコヴィッチの意識を追い出して、マルコヴィッチそのものになりきり、マキシンを抱き

暮らすことを計画する。

他人が他人になりすまし、他人を通して愛し始める、ねじれた世界が現出する。そしてここに、マルコヴィッチになりたがる多くの人々が現れ、さらには、マルコヴィッチ本人も自分を主張しはじめる。マルコヴィッチの存在をめぐって、多くの人たちがうごめきはじめるのである。

ジョン・マルコヴィッチは実在の俳優。『シエルタリング・スカイ』や『ラウンダーズ』などに出演している人だが、彼の意識に入りこむという奇想天外のストーリーもさることながら、マルコヴィッチそのものが、自分の意識を覗いたりという場面も出現して、話はまるでメビウスの輪のようになる。なにかを介在させないとコミュニケーションできない現代人のアイデンティティ喪失。人間の多面性と不条理。多くの人を演じる俳優という職業の、その多重性。会社というシステムへのアンチテーゼ。自己とはなにかという問いかけ。さまざまに触発してくるこの奇妙なファンタジーは、想像をあらゆる角度から刺激し、いつまでも魅了してやまない。

### 『マルコヴィッチの穴』 BEING JOHN MALKOVICH

(1999年 アメリカ映画 アスミック・エース配給)

監督=スパイク・ジョーンズ

出演=ジョン・キューザック、キャメロン・ディアス、キャスリーン・キーナー、オースン・ビーン、チャーリー・シーン、ジョン・マルコヴィッチ